

あなたの身近な自治会活動

令和2年4月1日に、「四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例」が施行されました。この条例は、自治会の活性化を推進するために、地域住民の自治会への加入・参加に関して、地域住民、自治会および事業者の役割と市の責務を定めたものです。超高齢社会への対応、子どもの見守り、近年増加する自然災害への備えや防災など、多様化する地域の課題を解決するため、地域コミュニティの活性化が求められています。



地域住民の役割

- 自分が地域の一員であることを自覚する
- 地域の活動に自分事として関わる

地域住民の役割

自治会の役割

自治会の役割

- 地域の担い手として、積極的で主体的な活動に努める
- 自治会に関する情報を公開する
- 地域を担う人材育成に努める

事業者の役割

- 従業員が地域の自治会活動に参加しやすい環境をつくる
- 住宅の建築などに当たり、住む人に対し、地域の自治会に関する情報の提供に努めるなど

事業者の役割

市の責務

市の責務

- 自治会との協働に努める
- 関係部署で連携し、自治会の負担軽減に配慮する
- 必要な財政的支援に努める
- 積極的な広報および啓発に努める

安全・安心ネットワークの構築 地域コミュニティの活性化



四日市市自治会連合会会長 水谷重信さん

自治会への加入促進に向け、これまで四日市市自治会連合会ではパンフレットを作成し、周知するなど独自の取り組みを行ってきましたが、この条例によって行政との協働がより進むものと期待しています。

さらには、防犯や防災など地域の皆さんの関心事を通じて、自治会活動への理解と積極的な参加を進めていく必要もあると思っています。また、学校へ働きかけ、若い人を含め、幅広く自治会活動への賛同・共感を集めるのも良いかも知れません。

地域づくりという難しく感じるかも知れませんが、清掃活動など身近にできる地道な自治会活動が肝要だと思っています。お住まいの地域の自治会は、まちづくりの基盤であり、防災など暮らしの安全を高める主体であると考えています。一人ではできないことも、組織として対応することで十分に取り組むことができます。

地域が動けば、行政も動く。安全・安心なまちづくりに向け、さまざまな協働の形が求められると考えています。

自治会はこんな活動をしています

環境美化活動

防災・防犯・交通安全活動

文化・スポーツ・レクリエーション活動



福祉活動

広報活動

働きながらも参加しやすい工夫を

新型コロナウイルス感染症予防としてソーシャルディスタンスを踏まえた新たな生活様式を取り入れる必要があります。これは自治会活動においても同様で、例えば、総会を書面決議にするなどの取り組みが行われています。

そのなかでも、パソコンやスマートフォンを使ったウェブ会議や情報伝達などの新たな取り組みも始められています。

これらのオンラインでの手法は、会社勤めなどで時間的に制約されることが多い若い世代が自治会活動に参加しやすくなるものとして有効であるとの声もあります。

【オンラインの活用例】

- ・ Zoomを利用したウェブ会議
- ・ 自治会費の引き落とし
- ・ LINEを利用した連絡や組回覧の実施

私たちの自治会では

LINEグループによる連絡

自治会の仕事が大変だという先入観を無くし、シンプルに主体的に取り組めるようにしたいと考えて、執行部と組長の「LINEグループ」を導入しました。一番活用しているのは、組長会議などの調整です。事前に協議内容などを伝え、時短に努めています。また、行事の状況報告などにも活用しています。

たったこれだけのこともかもしれませんが、こまめに画像も交えて連絡をすることで、会議の集まりも良くなりました。リアルタイムに届くメッセージが効果的に機能しているのではないのでしょうか。



赤水町自治会長 伊藤千夏さん

自治会活動にご参加ください

自治会は、同じ地域に暮らす住民同士が、自らの生活に直結する課題を解決するため、自主的にさまざまな取り組みを行っている組織であり、地域の絆づくりに欠かせない大切な存在です。

日頃から自治会活動を通じて気軽に協力し合える関係を育むことで、地域内の課題解決に取り組むことができます。

ぜひ自治会に参加し、地域のまちづくり活動と一緒に取り組みましょう。新たに加入を希望する人は、お住まいの地域の自治会長へ、不明な場合は、地区市民センターか市民生活課へお問い合わせください。

防犯外灯やごみの集積場の管理、高齢者の見守りに、いろいろな行事、実はそれ、自治会がやっているんだよね



ウェブ会議の活用や会費の引き落とし

地域の主軸となる若い世代が仕事や育児、自治会活動を両立することを目的に方向性を考えました。まず、自治会業務を明確化し、オンラインや外部委託などを活用することで効率化を図り、負担を小さくするだけでなく、早く正確に自治会の情報を得ることができるようにしました。



梅が丘自治会長 橋爪康臣さん

具体的には、外部委託による自治会費の口座引き落としやクレジットカード払いの活用、公式LINEやウェブ会議などの導入です。もちろん、導入まで、賛否含めて意見がありました。しかし、組長の負担が減り、忙しくても参加しやすい自治会になったと思っています。負担感のない自治会運営をしていくには、こうした取り組みも有効だと思います。